

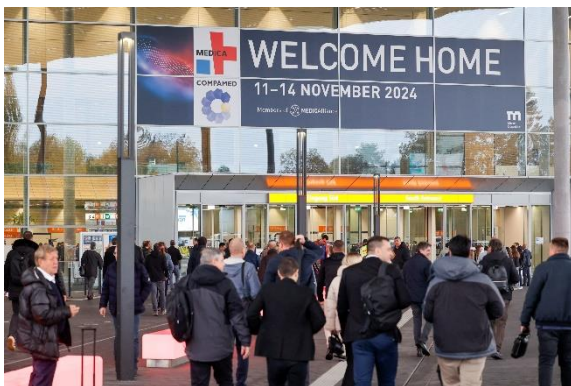
ファイナルレポート



2025年1月8日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

MEDICA / COMPAMED 2024 世界の医療業界の新技术リーダーシップに刺激をもたらす



「Meet Health. Future. People.」は、MEDICA 2025 の未来に向けた新たなキャンペーンテーマです。

この新しいスローガンは、MEDICA 2024 と同時に開催された医療分野の No.1 サプライヤー見本市 COMPAMED 2024 の成功によって再び証明されました。「世界規模のネットワーキングに最適な機会が提供されたほか、驚くほど多様な最先端のイノベーションとトップレベルの学会が行われました。MEDICA のグローバルリーチは他に類

を見ない唯一の存在です」と、メッセ・デュッセルドルフの最高執行責任者であるマリウス・ベルレマンは述べ、展示ブースとプログラムステージで起こったすべての出来事に大きな感銘を受けました。11月11日から14日まで、72 か国から合計 5,800 社の出展企業が、約 80,000 人の業界関係者 (165 カ国) に専門知識を披露しました。そして、入院患者と外来患者のケア向けの最新のヘルスケアソリューションについて印象的な展示を成功させました。技術的に高度なサプライヤー製品も含む医療技術バリューチェーン全体を網羅する点で、世界でも類を見ない見本市です。意思決定者の参加率が高く、満足度も高かった両展は、前年度と同様に素晴らしい結果となりました。

両展に訪れた専門家の 90%以上が意思決定権を持ち、そのうちの 90% 以上が MEDICA への参加に満足していました。

「この結果は出展者のビジネスを後押しするものです。全体として、両展の成功は、医療技術の革新におけるリーダーシップをめぐる国際競争が勢いを増していることを示しており、そして、他の業界と同様に、アジ

アの企業も深く関わっています。出展したドイツ企業を始めとする、ヨーロッパ、中国、韓国、インド、そしてもちろん日本と台湾からの企業が、素晴らしい革新を披露しました。また、米国からの出展者が多く、今年も全出展者のほぼ 10%を占めました。米国の州を代表するいくつかのブースを含む、さまざまなグループパビリオンを出展していただけたこと、光栄に思います」と、メッセ・デュッセルドルフの MEDICA のディレクター、クリスチャン・グロッサーは述べます。

<ドイツ病院カンファレンスは見本市ビジネスに強力な推進力をもたらす>

MEDICA は半世紀以上にわたり、革新で人々を驚かし、時代の流れに遅れないプログラムを更新し、そして知識の伝達、専門家による議論、それぞれの出展者間のギャップを埋めることを特徴としてきました。今年重要な新たなコンセプトの 1 つは、MEDICA の中で開催した新しいテーマエリア「Med Tech & Devices」と「Digital Health」(ホール 12 と 13) です。テーマ別にスペースを割り当て、併せて「ドイツ病院カンファレンス」を新しく開催しました。初めて、ドイツの病院のトップマネジメント向けの主要イベントが、見本市の中心であるホール 12 で開催されました。待望の第 47 回ドイツ病院会議のオープニングでは、ドイツ連邦保健大臣カール・ラウターバハ教授(ライブストリーム経由)やノルトライン＝ヴェストファーレン州保健大臣カール・ヨーゼフ・ラウマンなどが代表団に演説し、特に差し迫った病院改革の結果としてのドイツの病院環境の変化に焦点を当てました。特に関連性の高い出展者は、この新たなイベントエリア周辺に病院の意思決定者に臨床機器や手術室のイノベーションを紹介することが出来ました。

<エキサイティングなセッションと特別イベント>

MEDICA の体験エリア「Digital Health」では、出展者の幅広いラインナップに加え、込み合いのステージ・プログラム (MEDICA HEALTH IT FORUM、MEDICA ECON FORUM、MEDICA INNOVATION FORUM)や、MEDICA START-UP PARK (過去最大の 60 社の出展、日本から過去最大 10 社参加) やウェアラブル・テクノロジーズ・ショーなどの特別イベントが開催され、いずれも興奮を誘い、大きな注目を集めました。

その上、「Hospital of the Future」体験パビリオンは、MEDICA のプログラムに比較的最近追加されたものです。この特別体験エリアは昨年開始され、現在は病院ネットワークでの遠隔医療によるデジタル・ネットワーキングと協力を焦点を当てています。韓国医療機器協会 (KMDA) は協力し、専用ゾーンで病院での AI ソフトウェアを活用し、迅速な健康診断のためのデジタル・イノベーションを紹介しました。



<第 13 回 MEDICA スタートアップ・コンペティション>

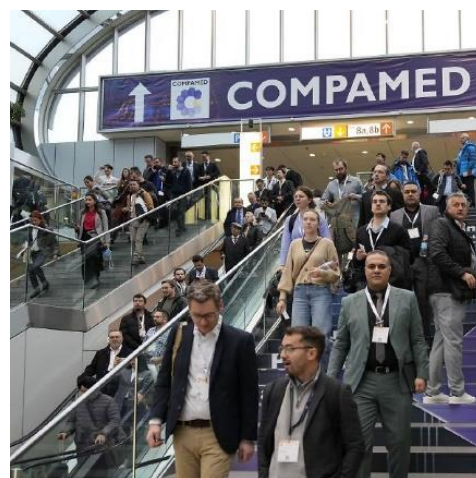
第 13 回 MEDICA スタートアップ・コンペティションの決勝では、フォーラム・ステージで、脳外科手術に使用するために新たに開発されたマイクロロボットを発表したフランスの Robeauté 開発チームが優勝しました。また、MEDICA 会期中開催されている「ヘルスケア・イノベーション・ワールド・カップ」では、月経痛や月経前症候群 (PMS) の症状を緩和するために脳の神経ネットワークに作用するヘッドセットを開発した英国の Samphire Neuroscience 開発チームが優勝しました。

<車大国ドイツで Automotive Health の推進を MEDICA で証明>

フランクフルトのイノベーション研究所と共同で設計された「Automotive Health」特別エリア (ホール 12) も多くの注目を集め、会期中、毎日多くの来場者が訪れました。現代では、安全で健康的な運転を可能にするために、さまざまなセンサーや機能を自動車に組み込むことができます。すでに普及している疲労検出システムは、ほんの一例です。将来的には、さらに多くの機能が運転者のバイタル・データの測定に基づいて緊急事態のリスクを自動的に検出し、重大な事故を回避できるようになるでしょう。イノベーション研究所は、フォルクスワーゲンの先端技術電動車「ID.4」などの車両を展示し車の分野での開発の専門知識を実証し、レーシング・シミュレーターでこの技術を実際に会場に紹介しました。

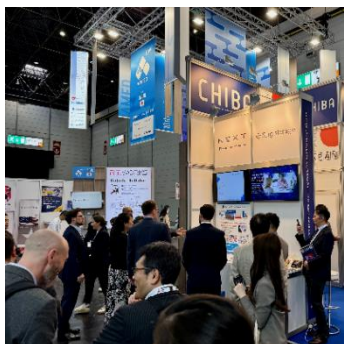
<同時開催 COMPAMED: イネーブラーのプラットフォーム>

ホール 8a と 8b では、COMPAMED 2024 に参加した 750 社のサプライヤー企業が、幅広いハイテク部品やマイクロ流体アプリケーションから特殊なソリューション (クリーンルーム要件を考慮) まで、医療技術業界で使用されている主要テクノロジーに関する専門知識を印象的に披露しました。COMPAMED 会場内の 2 つの付随フォーラムでは、AI、ロボット工学と自動化、マイクロテクノロジーの開発、材料の革新など、サプライヤー分野の最新のホット・トピックを網羅した充実したプログラムがフェアの全日にわたって開催されました。



<日本から両展合計 147 社が出展、デジタル・ヘルス分野の出展者価数が過去最大>

今年、日本の企業は、MEDICA、COMPAMED を合わせて 147 社 (MEDICA 97 社、COMPAMED 50 社) が出展し、前回の 140 社を上回りました (欧州などからの日系現地法人出展は上記とは別に 26 社出展)。



MEDICA のホール 15 には今回も**ジェトロ**運営の 18 社（9 社は初出展）が参加する**ジャパン・パビリオン**が設置され、同ホールには**東京都、千葉県**（写真）以外にも、**AMED** のパビリオンが昨年通り設置されました。

パビリオンの設置に加え、JETRO と東京都は MEDICA COMPAMED 会期中、ホール 15 から離れた他のホールのテーマに合わせ、様々なイベントを開催しました。特に MEDICA 初日にデジタル・ヘルスのホール 13 で行われた JETRO のネットワーキングレセプション（写真）と東京都のホール 9 の「Tech Forum」で開催された出展者ピッチイベントには参加者が 100 名以上集まり、大成功でした。



同じく COMPAMED では**東京都、さいたま市、大田区、福島県、信州大学**が今回も継続的にパビリオンを設置しました。ホール 8b で日本のアピールを強化し、各自治体の中小企業や取引メーカーの出展や商談をサポートしました。



今年の信州大学のパビリオンには企業 8 社（うち 4 社は信州大学発ベンチャー企業）が参加しました。担当者より、「大きな問題もなく、順調に進んだと思います。色々ご協力いただきまして有難うございました。」そして、「会場に関しては概ね満足といった状況です。」とコメントをいただきました。

MEDICA の日本出展者の同展参加に关しますコメントを以下に紹介します。

「初の国際展示会であったが、想定外に収穫は大きかった。継続コンタクト先もあり、ビジネスとしての成果は先になるが、当社製品での海外展開の可能性を感じる事が出来た。」（**シノテスト/東京都・パビリオン/メイン出展製品・IMMQUA SCCA2, SYGNUS AUTO Lipase**）

「商談成立の可能性が高い来場者多数と繋がる事が出来たので出展した成果に満足している」（**太陽商事/東京都・パビリオン/OPELAIII Cx**）

「予想より多くの来場者があり商談件数も多く充実していた。欧州以外がほとんどで、欧州域内の方が少ない点は驚きだった。来場者のほとんどはディーラーで、現地のドクターの来場が減少傾向にあるように感じた。使用者の方の意見が聞けなかったのは残念だった。」(Hadeco/ジェトロ・パビリオン/超音波血流計)



「この度は、MEDICA 2024 における TDK の出展に際し、多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。貴社のおかげで、非常に良いブース場所を確保することができ、多くの来場者に TDK ブースにお越しいただくことができました。このような素晴らしい機会を通じて、TDK の技術と製品を多くの方々に直接ご紹介できたことを大変嬉しく思っております。」(TDK・写真/3D スキャナー、マグネット系センサー)

「スタートアップパークに参加し、各国のディストリビューターなどとのコネクションや、実際の弊社プロダクトに対するリアクションを確認でき、今後につながる一歩となりました」(デジリハ/MEDICA Start-Up Park/子供向けリハビリ・ソフトウェア)

「初めてのヨーロッパでの展示会は、世界中の来場者や出展企業との出会いが大きな刺激となり、ビジョンや市場の可能性を広げる貴重な機会となりました。」(I.W.G Inc. /MEDICA Start-Up Park/DOCloud 医療連携プラットフォーム)

「今回初めての出展でしたが予想以上にヨーロッパマーケットの拡大強化につながりました。すぐには取り引きはなくても見込みのあるお客様を確保できたので満足しています。」(Bond Japan /日本製中古医療機器)

次に COMPAMED の日本出展者からのコメントを紹介します。

「今回初めて COMPAMED で展示しました。わからないことが多い中で MDJ 担当者、アライアンスのご協力/ご支援のもといろいろな国の来訪者の方に我々の製品を手にとって、触って、体感して頂く良い機会となりました。」(帝人/メンブレン「Miraim」(ミライム))



「展示会 4 日間通じて多くの方がブースに立ち寄ってくれてよかったです。また、Networking event など複数あり多くの方と交流できてよかった。展示会にある食事は値段が高かったので、そこは残念だった。」(ジェリクル/東京都・パビリオン/Tetra-Gel(バイオマテリアル))

「例年通り、有益な商談をいくつか行うことができました。」(協立金属工業/医療用ステンレスワイヤ) 両展日本出展企業のコメントは以下でもお読みいただけます。

「MEDICA 出展者の声」 <https://medica.messe-dus.co.jp/exhibitors/testimonials>

「COMPAMED 出展者の声」 <https://compamed.messe-dus.co.jp/exhibitors/testimonials>

その他の情報は下記リンクをご確認ください。

<https://www.medica-tradefair.com> <https://medica.messe-dus.co.jp/>

<https://www.compamed-tradefair.com> <https://compamed.messe-dus.co.jp/>

次回の MEDICA、COMPAMED は 2025 年 11 月 17 日～20 日、ドイツ・デュッセルドルフにて開催されます。

また、メッセ・デュッセルドルフグループがグローバルに手がける医療業界向けメッセの情報は、こちらからオンラインでご覧ください：<https://www.medicalliance.global>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：ラーベ

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp